

平成27年度第8回政策会議

日時 平成28年1月18日(月) 13:30~14:00
会場 市長会議室
参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 川越企業局長
種田企画部長 高橋総務部長 入江財務部長

1 第2次函館市障がい者基本計画(案)について

◎対応 藤田保健福祉部長 大泉保健福祉部次長 鍋嶋障がい保健福祉課長
天羽保健福祉部参事 木村保健福祉部管理課長

◆ 議題の趣旨 ◆

第2次函館市障がい者基本計画(案)について協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

本件の内容は了承されました。

◆ おもな発言 ◆

□鍋嶋障がい保健福祉課長)

障がい者施策においては平成18年4月に障害者自立支援法が施行され、平成25年4月には障害者自立支援法を改正し、障害者総合支援法として施行されたほか、障害者虐待防止法や障害者差別解消法が制定されたところであり、障がい者を取り巻く社会状況が大きく変化していることを踏まえ、障がいの有無にかかわらず、お互いの人格と個性を尊重しあいながら、共生する社会の実現に向け、策定するものである。位置づけとしては、障害者基本法に基づく計画であり、計画の期間は平成28年度から37年度までの10年間である。対象とする障がいのある人については、障害者基本法の規定に基づき、身体障がい、知的障がい、精神障がい、これに発達障がいを含むこととし、また、障害者総合支援法で難病の方で障がいの範疇に含まれた方を本計画の対象としている。

障がいのある人の現状として、身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病についてそれぞれ記載しており、こうした方々との共生社会の実現にむけて計画を策定するものである。障がいのある人を取りまく環境等の変化について、社会全体の意識の変化、社会福祉制度の変革、教育体制の変化など、現状の課題などについて記載している。

計画の基本的な考え方、計画の基本理念については現計画のリハビリテーションの理念とノーマライゼーションの理念を継承し、障がいを理由とする差別をなくし、あらゆる社会的障壁を取り除くことにより、障がいのある人が生きがいを持ち、自立し、安心して暮らせる共生社会の実現とした。

計画の基本的な方向として、地域生活の支援体制の充実、自立と社会参加の促進、バリアフリー社会の実現について記載している。施策の体系として、基本理念・基本的な方向・施策区分・施策の推進方向をそれぞれ示している。

分野別施策の、地域生活の支援体制の充実として、1 生活支援、2 保健・医療について、現状と課題・基本的な考え方、施策の推進方法と主要施策を記載している。福祉コミュニティエリアの整備については、1 生活支援の日常生活支援体制の整備のなかに位置付け、記載している。

分野別施策の、自立と社会参加の促進として、1 教育・育成、2 雇用・就労、3 社会参加について、同様に現状と課題について記載している。

分野別施策の、バリアフリー社会の実現として、1 権利擁護・理解の促進、2 生活環境、3 情報・コミュニケーションについてそれぞれ現状と課題などについて記載した。この中で、分野別施策の、バリアフリー社会の実現のなかで、1 権利擁護・理解の促進については、現計画では施策の推進方向の小項目として掲載していたが、障害者虐待防止法や障害者差別解消法の制定、市民後見人の養成、成年後見制度の普及を受け、大きな枠組である施策区分に位置付けることとした。この件については、計画策定推進委員会の中でも大変望ましいとの意見をいただいている。

計画の推進等について、計画の推進のための実施計画については、障害者総合支援法に基づき策定している障がい福祉計画を実施計画と位置づけ、本計画の推進を図っていく。

計画の推進および管理については、1点目として、障がいのある人、市民、ボランティア、関係機関、団体との連携、2点目として関係部局などとの協働や国・北海道との連携。3点目として、障がい者計画策定推進委員会において計画の進捗状況の把握や分析などに努める。4点目として、計画施行後、5年をめどに後期の推進について検討することとしている。

■藤田保健福祉部長

内容的には、現計画と大きくは変わらないが、虐待防止法や差別解消法といった法律が制定されたことから、権利擁護や虐待防止について啓発していくこととしている。

■種田企画部長

分野別施策に関する記述のなかで、記載項目の順序についていくつか疑問がある。また、記載内容に重複する部分が見られることから整理が必要と思われる。

■藤田保健福祉部長

各検討委員会を開催し、必要であるという意見をいただいた事項を追加して記述している部分もあることから、文言の整理が不完全な部分があると思うが、基本的には間違いがないと思っていることから、文言の修正をかけながらパブコメ実施の来月の月上旬まで調整したうえで、公表させていただきたい。

■種田企画部長

パブコメの前に今年度最後の協議会もあると聞いている。協議会の場でもいろいろな意見が出ると思うので、あとは表現方法を若干、整理すればいいのではないかと考えている。

ほかになれば、基本的な方針として、これで決定とさせていただく。